

た唱歌がなくなつて困つて居ります。二週間に一つか三週間に一つ新しいのを。その唱歌の難しい程度にもよりますが、二週間に一つか三週間に一つ新しいのを教へ度いと思つて居ります。

(堀) 平均二週間に一つにするに二つ一年に二十位ですか。

(倉橋) それさずつみ、かけ離れた数をお考へになつて居る方ありませんか。一年に新しい歌を一つ、云ふ様に

……。(笑聲)

(留岡) 私の方はもつこ澤山。大概一週間に一つ。

(倉橋) 先生がお聲がいゝさうなる。(笑聲)それは教材の問題は多ければ多い程、さう云ふ問題は、結果は兎に角、氣をつけていらつしやるに多くなつて来るのですね。

一週間に一つ位ですか。

(留岡) 秋ならば菊さか落葉さか紅葉さか、時期で。兵

隊さつこさか色々。

(倉橋) その所謂ネタがありますな。

(白根) 私の方も多いのです。お唱歌の先生さよく連絡

をこつて居ります。小學校を重複するものを教へ度い時は見て頂くので、小學校の先生も幼稚園で教へてちつとも差支へないに仰有るので、後で直すのも研究になるから思ふ通りにおやりなさい云ふので、材料はさては豊富になつて従つて多くなるのでございませう。

(倉橋) 八時なんです、もう一寸延ばして頂いて。

○手技に就て

手技の問題も一つ一番初めに大いに出た話ですけれども、保育項目の扱ひにして入れておき度いと思ひますが、これは他の保育項目に比べますと、餘程生活的で、自然の中に生活誘導云ふものでやつて居る。生活の中からさつこ指導が導びかれに導びかれる、云ふに丁寧ですが、或はプロゼクトでお育てになつたもの、子供が自然に探し出したものをテクニクの指導の方に導いて行くものも出来るし、随分かう云ふ問題があるのですが、所謂手技を手技として保育目的にする云ふ様な事は徳久さん、何うやつていらつしやいますか。

(徳久) 手技を手技として。

(倉橋) 自然に子供がものを作り出して来て居るのを自由手技でも言ひますか。それもあるし、プロゼクトの中に自然に出来て行くのもありませうし、又特に粘土製作、粘土をさして上げますか、今日は何か作らうとか云ふ様な事が御ありになるか、何う云ふものか。

(徳久) 私の方でも手技を一番多く致して居ります。矢張一學期位に大きな目標を立てましてその目標によりまして、共同製作を致しましたり、一人一人塗繪を致しますか、貼繪を致しますか、手技を致して居ります。大概毎日致して居ります。

(倉橋) さうするに何の位の分量になるんですか。毎日相當の時間をそれに、各子供が。

(徳久) はあ、さうでございます。共同製作になります、その日によりましてある子供はするし或子供はしない事になります。全體の時間数から考へますとかなり多くの時間を使ひます。

(倉橋) あの例へば天下に有名なあなたの自動車會社で

自動車を製作した時、或者はヘッドライトを作り或者はタイヤを作る、云ふ様な事で色々する時間としては相當多い。さう云ふの、他に所謂何と言ひますか、それを繼續的計畫、さうでない個單製作で、一個をそれ一個として作る。その個單製作が、昔の様にそれを作りつ放しの個單製作か。作つたものは後に運用して行く云ふ傾向に御導きになるか。この話は暫く別にしてまあある何分掛れば出来る個單製作の様なものなざる、粘土製作なんか板が廻つて、お盆が廻つてそれに山が一つ載つて居るのが配られますね。それで取敢へず銘々違つたものを作るにしても、個單製作をする、私は粘土は左官屋の様に壁塗をするのかと思つたら、矢つ張個單製作。粘土以外に於ても所謂共同製作云ふか、繼續製作の他に矢つ張していらつしやるか。

(徳久) 或は畫を描きますか、塗繪を致しますか。或は何も申しますか。

(倉橋) それは共同製作云ふ方は其處に先生を離れ、幼稚園を離れ、共同製作のテーマが中心になつて子供の生活を引張つて行くと思ひますから、何時やることもなく、何

時やるごも知れず、しよつちう、一人く違つて居てもいいのです。或時は興味がすつみ續いて當分そればかりでやつて居る事もあり、飽きる事もあつたり、變化したり何かある様です。さうでなく先生の方から手技の目的を示して、斯う言つた様な教育効果を計らうご云ふ事

なさるごすれば、これは先生の量的回数で配當の問題になつて来るのですから、それはやつていらつしやいますか。

(徳久) やつて居ります。

(倉橋) 何の位？ そればかりやつていらつしやる、手技に何時間？ 何回数ご仰有るか。共同製作をやつて居る時は個單製作は少いかも知れない。共同手技のない時は個單手技が非常に多くなつて来るかも知れない。其處に多少の違ひが出て来るご思ひますが。昔の幼稚園は個單製作ばかりやつて居たのですが。貴女の所ではさうでない様に洩れ承つて居りますが。

(徳久) 致します時によりまして大變違ひます。例へば動物園ごか、賣屋を計畫して居ります時は品物を色々作つて居りますご、自然に粘土をするごか、塗繪をするごかご

云ふ事が少くなります。店の品物を作るので。その時によりました大變違ひます。

(倉橋) 一年間なら一年間、幼稚園に居る間にこの位の個單製作をさせ度いご云ふ標準はお立てにならないのですか。

(徳久) まあ共同製作が主で、別々に之を仕上げてる、ご云ふ事は別に決めてございませぬ。

(倉橋) 其處らの問題 大體に手技—粘土は何の位、紙細工は何の位させる、ご云つた事を矢張配當して計算出て来る様に、やつていらつしやるごは思ひますが。坂内さんの方は何うですか。

(坂内) さう詳しくして居りませぬ。矢張共同製作も致しますが。

(堀) それでその手技を、種類を何れ位、個單製作の方の手技がどれ位、種類があつて、それから實際、現在ごの位種類、やつていらつしやる？ それで粘土細工なら粘土細工が一週に一遍ごか、割合はありませぬか。

(坂内) 粘土は板が全部の設備がないし、準備が小使も

出来ませぬし、季節のいゝ時は一週一度位日を決めてして居りますが、教材の都合がありますが、寒くなれば致しませぬし、餘計曇つて居りますと致しませぬから、凡そ設備的には一回、本當の個單製作の時。

(倉橋) 共同製作—合複製作。(笑聲)

(坂内) 合複製作が多いかも知れませぬ。白狀致します。大きな合複製作は出来ませぬけれども、合複製作は考へ様によつては色々出来ますものですから、最後に合複製作にするにしても、或は何の子を見ても個單的にやつて居りますけれども大きな所に纏める様にやつて居ります。それに就てもこの頃の様に玩具屋さんをしようと言へば、毎日く紙細工をやつて居ります。さう云ふのも大きく一學期の終りに玩具屋に纏めます。後は七夕とかお雛様とか、年中行事に支配されます。

(倉橋) 土川先生の所では手技に重きをおいていらつしやいますが、所謂手技に重きを置くのも、手技が多いと云ふだけでなく、一層保育項目を系統付けた、システムティックにやつていらつしやる事と解して、何う云ふものを何

の位、云ふ配當は？

(土川) 配當？

(倉橋) 所謂共同製作の方で必然的に導き出す事によつても指導は出来ませんが、個單製作と云ふ意味から言つても、粘土製作價值と云ふものが特別に研究されて居ないから粘土製作を幼稚園ではうつちやつておく、と云ふ、これも問題になると思ひます。

○個々の子供として

(倉橋) 扱て色々して参りましたが、その配當に就て何處かにしよつちう、奥歯に挟つて居るが—私の蟲齒の中に小豆が一つ這入つて居る。家迄保存して歸らうかと思つて居りますが—所謂配當して見た所で劃一齊主義的に配當されて居るか何うかは別問題であります。今日のお話は全體幼稚園と云ふ保育そのことに於て何う配當したらいか、と云ふお話ですから其處の問題を徹底して置くこと、實に大事なものになつて来ると思ふ。それが旨く出来れば、